

(株)長田工業所

資金調達の目標額達成を喜ぶ小林社長(中央)と坂本市長ら＝15日、坂井市春江町西長田の長田工業所



坂井の町工場テーマパーク化

溶接加工工事・長田工業所

ネット出資目標額届く

来年4月開園決まり式典

工場の一部を市民に開放する「溶接テーマパーク化」計画を進めている坂井市春江町西長田の溶接加工事業・長田工業所のインターネットを通じた小口の資金調達が目標額に届き、予定通り来年4月の事業開始が決まった。同社は15日、目標達成セレモニーを開き「坂井市の観光名所の一つとなるよう(計画を)

成長させていきたい」と意欲を示した。

ものづくりへの関心を高めてもらう目的で、鉄の惑星「アイアン・プラネット」と名付け、職人の仕事の見学会や溶接体験ワークショップなどを開いていく。

資金調達はクラウドファンディングサイト「zenmonno(ゼンモンノ)」を通じて、10月8

に開始。更衣室やトイレを備えるための30万円の目標額と、70日間の募集期間を設定し、同31日には早々と目標額に到達した。15日現在、県内外47人から39万5千円が集まっている。

セレモニーには県内の支援者ら20人が出席。小林輝之社長は「私1人の夢が、たくさんの人たちの夢となった。ものづく

りのワクワク感を広く伝えたい」とあいさつ。同市の坂本憲男市長は「遊び心こそが日本のものづくり再生の鍵。市民協働のまちづくりや観光などと連携した先進事例になっている」と述べた。

資金募集は12月17日まで続けられる。目標額を超えた分はエアコンや内装充実など、ワークショップ参加者が快適に過ごせる空間整備に充てる。同社は来年4月の事業開始までの間、試験的に溶接体験アトラクションを随時開いていく。

(山内弘司)